

開講科目名 / Course	教育方法論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	麻生 良太	
担当教員名 / Instructor	佐伯 圭一郎、麻生 良太	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	教師による指示や発問、それに対する子どもの考察、話し合い活動、質問行動、説明、新たな課題の発見といった教授過程や理論の実際を概説するとともに、情報化社会に対応した教育内容や方法の実際に焦点をあて、各種情報機器の活用について紹介する。	
到達目標	1. 教室で展開される教授過程（教師による発問から子どもによる新たな課題の発見まで）の目的や意味について説明することができる。 2. 情報機器等を活用して教材を作成することができる。 3. 情報機器等を活用して学校保健活動に必要なデータを処理することができる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、4.連携協働・リーダーシップ、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 教授学習の理論(1) プログラム学習、完全習得学習、問題解決学習 02. 教授学習の理論(2) 総合的な学習（プロジェクト学習）、協同学習 03. 学ぶ側から教える側へ(1) 模擬授業の計画 04. 学ぶ側から教える側へ(2) 模擬授業の実施 05. 学ぶ側から教える側へ(3) 授業分析の実際 06. 実践的な専門家としての教師の成長 07. 学校教育において利活用されるICT機器について 08. 学校において取り扱われるデータの分析について	
その他の授業の工夫	・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供も行う。 ・受講者が話し合う機会を提供する。 ・指導案を書き、模擬授業を行う。	
時間外学修	・授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（8h）。 ・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこない、生徒指導における基本的な概念について自分なりの理解を構築する（10h）。 ・期末レポートの作成（4h）。	
評価方法と評価割合	ショートレポート（50%）及び定期試験（50%）。	
テキスト	必要に応じてハンドアウトを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	特になし。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		